

趣意書

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構

理事長 浜野潤

1. 募金の趣旨

倉敷中央病院（以下、当院）は、1923年に設立された民間病院です。「患者本位の医療」「全人医療」「高度先進医療」の3つの基本理念を掲げ、広域急性期基幹病院として岡山県西部圏域約80万人に質の高い医療が提供できるよう、日夜診療にあたっています。

このたび、当院の現場のスタッフが提案・取り組んでいる社会的課題を多くの方に知っていただき、かつ地域の皆さまとともに課題解決につなげたいという思いから、職員公募型のクラウドファンディング（以下、CF）を開始しました。今年度は産婦人科医師から提案のあった「救急救命士を対象とした病院前周産期救急シミュレーション講習開催」を目標に、CFに挑戦いたします。

出産前に、“母子急変”と呼ばれる緊急事態に直面した際は、母子の命を救うため、産科医や助産師のみならず、救急医をはじめとした各科医師や看護師らが、命を救うためにあらゆる手段を講じています。妊婦さんと赤ちゃんに急変が起こった際、真っ先に現場に向かい、対応するのが救急救命士の方々です。当院では2013年からの10年間で23人の病院前出産（病院に着く前に産まれること）の搬送を受け入れており、この中には救急救命士の適切なサポートがなければ救えなかった命も含まれています。

現在、全国的に分娩施設の減少と集約化が進んでおり、市町村によっては自宅や実家近くでの出産が難しくなります。総合周産期母子医療センターである当院への搬送にも、距離によっては時間がかかってしまうこともあります。しかし、最前線で対応する救急救命士にとって、妊婦さんと赤ちゃんへの対応を迫られる機会は多くなく、母子ともに命が失われかねない状況には的確な判断と行動が求められます。

今回のCFでは、母子急変時に最前線で対応する救急救命士が、迅速かつ適切な処置を行えるよう、リアリティのある病院前周産期救急シミュレーション講習を開催するための費用を募ります。ご理解・ご賛同いただき、幅広いご支援を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 寄付の名称

救急救命士を対象とした病院前周産期救急シミュレーション講習開催に向けた寄付金

3. 募集総額

3, 500, 000円

4. 募集期間

2024 年 7月24日 から 2024 年 9月30日

5. 募集対象

個人及び法人・団体

6. 募集理由

母子急変時に最前線に対応する救急救命士が、迅速かつ適切な処置を行えるよう、リアリティのある病院前周産期救急シミュレーション講習の開催を必要としています。

7. 資金用途

講習に必要な資機材の購入や、専門的な知識を持つ講師の派遣費用に充てます。